

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	中山中学校屋内運動場耐震補強事業			
予算科目	10 款 3 項 3 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとつづくり～ 学校教育の充実			
所管課情報	担当課: 学校教育課 電話番号(内線): 089-989-9871			
記入者情報	所属長: 靄岡 正直 担当責任者: 武知 斉			
実施期間	【開始年度】平成 24 年度 【開始年度】平成28年度			
事業の対象	中山中学校 屋内運動場			
事業の必要性	S45年築で既に40年余りを経過し老朽化が著しい、また、H22年に実施した耐震診断では、Is値0.15と耐震性の低い建物と判断されている。そこで、安全かつ機能的な施設の整備を図る。			
施工方法、場所	【施工方法】 請負	【施工場所】 伊予市中山町出淵2番耕地180-1		
運営方法	【運営方法】 直営 【運営費(予定)】			
事業の目的	安全で安心して過ごせる活動の場としての学校施設の整備を図る。			
事業の内容	屋内運動場: 木造又はRC造一部木造、1,000㎡程度既存校舎改修: 武道場設置			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目	26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算	
事業費	直接事業費	373,862	24,635	0	0
	人件費	4,772	1,608	804	1,608
	合計	0	26,243	804	1,608
人件費 内訳	人工数	0.60	0.20	0.10	0.20
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	4,772	1,608	804	1,608
財源内訳	国庫支出金	187,700	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	55,500	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	135,434	26,243	804	1,608

実施スケジュール							
項目	26年度以前	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度以降
各種調査業務等							
解体工事、造成工事							
工損事後調査		24,635					
建築・電気・機械設備工事	384,156						
監理業務	5,702						
年度別事業費	389,858	24,635					
財 源	国・県支出金	95,439					
	地方債	294,400					
	その他						
	一般財源	19	24,635				
国・県支出金等名称	学校施設環境改善交付金、公立学校施設整備費国庫負担金、過疎債						

成果指標				
成果指標	進捗率＝当該年度までの事業費÷全体の計画事業費×100			
指標設定の考え方	事業完了を100と設定し、全体計画に対する年度毎の支出計の割合（進捗率）を指標とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標26年度
目標	100	-	-	0
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	中山小学校特別教室棟・屋内運動場の耐震補強及び大規模改造工事の完了後に業務をすすめていたが、墳墓の対象件数が多いほか、連絡がとれない所有者の事後調査に伴う意向調査に不足の日数を要したことから、繰越となり事業継続中。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	教育活動には必要な事業であり、事後調査業務が墳墓の関連で繰越となったが、中山中学校屋内運動場は完成しており、事業廃止とする。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	事業の休止、廃止を検討する。
意見、課題	